

第四期武蔵野市環境基本計画



平成28年度～32年度（2016～2020）

- ◆ 長期計画に示された理念を踏まえて策定されるアクションプラン（実行計画）
- ◆ 環境分野の取組を進めていくためのマスタープラン

■ めざす環境像



私たちがつくる
スマートシティむさしの

主体的な行動が創り出す
人と自然が調和した新たな環境都市

めざすべきスマートシティ

エコシティ ～第三期環境基本計画までの目標～



スマートシティ

エネルギー面で使われる、スマートグリッド
I C T 技術を使ってエネルギー効率化した電力網

«スマートシティとは…»

市民・市民団体・事業者・行政（市） の

多様な情報・経験・価値観等をネットワーク化し、
新しい新たな交流・連携活動を生み出しながら、武蔵野市らしい
環境都市を主体的に作り出していく姿

■ スマートシティの実現のための 3つの重点項目

重点項目1

環境情報を分かりやすく
提供します

重点項目2

エネルギーの地産地消
都市を創造します

重点項目3

緑と水に配慮した
まちづくりを推進します

1 環境情報を分かりやすく提供します

- ◇物事の現象とその根源の関係性を明確にした情報提供
- ◇啓発・情報プログラムの体系化
- ◇発信方法の工夫・改善



市民や市民団体・事業者等の主体的な行動と連携を促し、環境に対する意識の向上を図る。

- ◇環境啓発施設「エコプラザ（仮称）」の整備検討。
- ◇環境学習の推進 等

2 エネルギーの地産地消都市を創造します

○市民・事業者・行政（市）等の各主体によるや創エネ、省エネ、エネルギーの効率的利用の推進

○未利用エネルギーの積極的活用（温度差利用、水素、都市油田…）

○ごみ発電（クリーンセンター）から生み出されるエネルギーの有効活用

○建築物への環境負荷低減の奨励など、まちづくりにおける環境配慮の推進

3 緑と水に配慮したまちづくりを推進します

暮らしやすさを意識しながら、緑の質・量、まちの景観・美観、自然環境等に配慮した都市空間の創造に向けた取組を進める

緑と水のネットワークを充実させ、人と生き物・植物が共生しやすい、生物多様性にも配慮した社会づくりを推進

地下水利用、雨水浸透、井の頭池の湧水復活等、水の循環を意識したまちづくりを推進



《具体的な動き》

- ◎ 生物多様性基本方針策定（平成29年4月）
- ◎ 緑の基本計画改定に向けての検討（平成29年度～平成30年度）

■ 施策の方針

環境像	環境方針
<p>私たちがつくるスマートシティむさしの</p> <p>主体的な行動が創り出す 人と自然が調和した新たな環境都市</p>	<p>環境方針1 市民・事業者・行政(市)の自発的な行動を促す取組を進めます ～環境配慮行動のしくみづくり～</p>
	<p>環境方針2 低炭素社会に向けた施策を推進します ～エネルギーの地産地消～</p>
	<p>環境方針3 ごみの発生抑制と資源の循環利用を進めます ～循環型社会の構築～</p>
	<p>環境方針4 生物多様性に配慮した緑と水の保全・創出とその活用を進めます ～自然が感じられる環境の確保～</p>
	<p>環境方針5 環境に配慮した都市基盤整備を進めます ～環境と共生したまちづくり～</p>
	<p>環境方針6 安全・安心で快適に暮らせるまちをめざします ～公害対策と生活環境保全～</p>